

令和3年県民意識調査

◆ 調査への御協力をお願い

この調査は、「宮城県震災復興計画」と「新・宮城の将来ビジョン」に関する取組について、県民の皆様の重視度・満足度や復旧・復興の実感、今後優先すべきテーマなどについてお聞きするものです。県では、その結果を基に計画の着実な推進を図るとともに、今後の施策や県政運営に反映させたいと考えております。

お忙しいところお手数をお掛けいたしますが、この調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

◆ 調査対象者

県内にお住まいの18歳以上の男女4,000人を、選挙人名簿等から無作為に抽出させていただきました。

◆ 調査基準日

調査票は、令和3年11月1日時点で記入ください。

◆ 調査回答の方法

調査をお願いした御本人(封筒の宛名となっている方)がお答えください。

なお、記入の際は、濃い鉛筆やボールペンなどを御使用ください。また、一旦記入した内容を訂正する場合は、訂正後の回答がはっきり分かるようにしてください。

本調査は紙(本紙)または、インターネットで御回答ください。

※インターネット回答を希望される方は、本紙2ページを御覧ください。また、インターネットの回答ページにログインする際は、下に表示しているID及びパスワードの入力が必要となります。

ID		パスワード	
----	--	-------	--

◆ 記入いただいた調査票について

記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、12月20日(月)までに、切手を貼らずにそのままポストに投函してください。

なお、調査は無記名で行いますので**本人の御名前や住所は記載不要**です。また、調査結果は統計的に処理するとともに、調査目的以外には利用いたしませんので、皆様の率直な御意見を記入くださいますようお願いいたします。

※インターネットで回答した場合は、**本調査票は返送不要**です。

◆ 調査結果について

この調査の結果は、令和4年3月頃に、県のホームページ(県民意識調査について)、県政情報センター、各地方振興事務所及び各地域事務所の県政情報コーナー(仙台地方振興事務所は除きます。)、議会図書室(県議会庁舎)でお知らせします。

➤ 調査に関するお問合せは、こちらまでお願いします。

① 調査や取組の内容に関するお問い合わせ

宮城県企画部 総合政策課 行政評価班
〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1
電 話:022-211-2406
F A X:022-211-2493
電子メール:seisakug@pref.miyagi.lg.jp

② 回答や返送に関するお問い合わせ

株式会社東京商エリサーチ 東北支社
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-1-2
アーバンネット定禅寺ビル4F
電 話:022-262-3811
F A X:022-266-6274

➤ 県のホームページ(県民意識調査について)

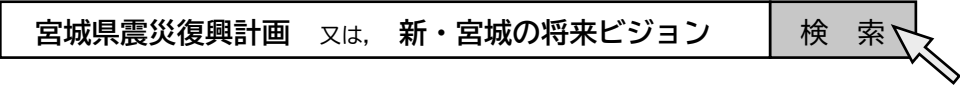
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/ishiki-gaiyou.html>

◆ 調査票の構成及び記入の仕方

調査票の構成

- 1 あなた御自身のことについて…………… (3~4ページ)
- 2 宮城県震災復興計画(※)について…………… (4~15ページ)
- 3 宮城県の復旧・復興の進捗状況について…………… (16ページ)
- 4 新・宮城の将来ビジョン(※)について…………… (17~27ページ)
- 5 その他の取組について…………… (28~31ページ)
- 6 今回の調査に対する御意見について…………… (32ページ)

※「宮城県震災復興計画」や「新・宮城の将来ビジョン」の概要については、県のホームページをご覧ください。



インターネット回答について

調査票は郵送の他、パソコン、スマートフォン、タブレット等を利用して、インターネットからも回答が可能です。

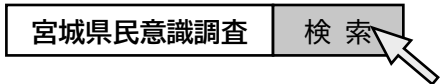
インターネットから回答する際は、右のQRコードを読み取る、又は、インターネットで「宮城県民意識調査」と検索し県のホームページ(県民意識調査について)に掲載しているリンクから、回答ページにアクセスしてください。

回答の仕方等については、「インターネット回答のマニュアル」を同ホームページに掲載していますので、御覧ください。

※回答ページにログインする際は、本紙1ページに記載されているID及びパスワードの入力が必要となります。



<https://kktser.com/miyagi2021>



調査票の記入の仕方

ここでは「4 新・宮城の将来ビジョンについて」の記入の仕方を例示しています。

つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

結婚、妊娠・出産、子育てについて切れ目のない支援を充実させるなど総合的な少子化対策を推進するとともに、家庭・地域・学校が連携・協働した活動を深化させ、未来の宮城を担う子どもたちに対する、福祉・教育分野における更なる支援の充実や取組の強化を図る。

【つくる3で果が行う主な取組】

取組6 結婚・出産・子育てを応援する環境の整備

【主な取組】

- ・結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援の一環として、令和2年度までは「みやぎ青年婚活サポートセンター」、令和3年度からは新たに「みやぎ結婚支援センター」により結婚支援事業を実施し、結婚支援の強化を図る。
- ・地域や関係機関と連携し、妊娠・出産期から子育て期までの切れ目のない支援の充実を図る。
- ・社会全体で子育てに取り組む気運を醸成し、安心して子育てができる環境を整備する。

【主な成果等】

- ◎みやぎ青年婚活サポートセンター登録者数 201人(R2)
- ◎みやぎ結婚支援センター登録者数 (R3までの目標:250人【参考値】)
- ◎「みやぎっこ応援の店」登録店舗数【累計】(R6までの目標:3,000店) 2,181店(R2)
- ◎保育所等利用待機児童数(仙台市含む)(R6までの目標:0人) 340人(R2)

取組7 家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築

【主な取組】

- ・貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、地域や関係機関と連携し、成育環境の整備や教育機会の均等を図る。
- ・地域や関係機関の連携による児童虐待の防止や、要保護児童に対する社会的養育体制の充実を図る。
- ・社会全体で家庭教育を支える環境づくりや子どもの基本的な生活習慣の定着に向けた取組を促進する。

【主な成果等】

- ◎県内における子ども食堂の数【累計】(R6までの目標:180か所) 70か所(R2)
- ◎置業委託率(R6までの目標:51.4%) 37.8%(R1)
- ◎「家庭教育支援チーム」の活動件数(R6までの目標:101件) 79件(R1)

つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

あなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけて下さい(複数選択可)

結婚・出産・子育てを応援する環境の整備	1 結婚、妊娠、出産の希望を叶えるための支援 2 子育て家庭のニーズに応じた支援 3 子育て支援体制の充実や社会全体の気運醸成
家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築	4 成育環境の整備や教育機会の均等 5 児童虐待の防止や社会的養育体制の充実 6 子どもの基本的な生活習慣の定着や家庭教育支援の充実 7 家庭・地域・学校の連携・協働の推進

■ 重視度(問1)・満足度(問2)の記入の仕方

- ・この「つくる3」について、どの程度重要だと思うか、どの程度満足しているか、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。
- ・記入例にある○の位置は【やや重要だと思う】、【やや不満に感じている】場合です。

■ 優先すべきと思うテーマの記入の仕方

- ・今後、優先すべきと思うテーマをお聞きします。
- ・あなたが優先すべきと思うテーマの番号に○をつけてください(複数選択可)。
- ・記入例にある○の位置は【3と5と7のテーマを優先すべきと思う】場合です。

まず、あなた御自身のことをお聞きします。

問1 性別（1，2どちらかに○をつけてください。）

1 男

2 女

問2 現在の年齢を御記入ください。

満

歳

問3 現在お住まいの市区町村名を御記入ください。

なお、県外にお住まいの方は本調査の対象外となります。

(

) 市・区・町・村

※仙台市在住の方は区名を、それ以外の方は市町村名を御記入ください。

問4 あなたを含めて同居の御家族は何人ですか。

()人

付問1 同居の御家族（あなたも含めます）の中に、以下の方はいらっしゃいますか。

1から6のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 乳幼児（小学校就学前の子） | 2 小学生 |
| 3 中学生 | 4 高校生 |
| 5 大学生（各種学校を含む） | 6 65歳以上の方 |

問5 あなたは、宮城県にお住まいになって通算何年になりますか。

通算()年

問6 あなたの職業について、1から7のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

※ 【2】にあてはまる方は、さらに【①】から【④】のあてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|----------------|------|
| 1 自営業主・家族従業者 | | |
| 2 被用者（雇われている人） | | |
| ① 会社員 | ② 公務員・独立行政法人職員 | |
| ③ パート・アルバイト・フリーター | | |
| ④ その他() | | |
| 3 企業役員・団体代表等 | 4 専業主婦（主夫） | 5 学生 |
| 6 無職 | 7 その他() | |

※ 【1】【2】【3】【7】を選んだ方は付問1に、【4】【5】【6】を選んだ方は問7に進んでください。

付問1 問6で【1】【2】【3】【7】を選んだ方にお聞きします。

現在の仕事の内容について、1から18のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

※ 複数の職業をお持ちの場合は、最も従事割合の高いものを選んでください。

- | | | |
|-----------------|----------------|--------------------|
| 1 農業, 林業 | 2 漁業 | 3 鉱業, 採石業, 砂利採取業 |
| 4 建設業 | 5 製造業 | 6 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 7 情報通信業 | 8 運輸業, 郵便業 | 9 卸売業, 小売業 |
| 10 金融業, 保険業 | 11 不動産業, 物品賃貸業 | 12 学術研究・専門・技術サービス業 |
| 13 宿泊業, 飲食サービス業 | 14 教育, 学習支援業 | 15 医療・福祉 |
| 16 その他のサービス業 | 17 公務 | |
| 18 その他() | | |

問7 あなたは、東日本大震災の風化が進んでいると感じていますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|---------------|---------|
| 1 進んでいると感じる | 2 やや進んでいると感じる | |
| 3 あまり進んでいないと感じる | 4 進んでいないと感じる | 5 分からない |

※ 【1】【2】を選んだ方は付問1に、【3】【4】【5】を選んだ方は次の「宮城県震災復興計画についてお聞きします。」に進んでください。

付問1 問7で【1】【2】を選んだ方にお聞きします。

どのようなことに、震災の風化が進んでいる（やや進んでいる）と感じていますか。
1から9のうち、あてはまる番号に○をつけてください（3つ以内）。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 自分自身の意識 | 2 家族との会話 |
| 3 被災地の友人・知人との会話 | 4 被災地以外の友人・知人との会話 |
| 5 新聞やテレビなどでの取り上げ方 | 6 ボランティアなど被災地への支援の減少 |
| 7 行政の予算や支援 | 8 分からない |
| 9 その他() | |

宮城県震災復興計画についてお聞きします。

東日本大震災からの一日も早い復興を図るため、10年にわたる復興の道筋を示す「宮城県震災復興計画」を平成23年10月に策定し、宮城県の再生と更なる発展に向け、全力で取り組んでまいりました。

「宮城県震災復興計画」は令和2年度をもって計画期間が満了となりましたが、令和3年度以降も「復興サポート事業」や「新・宮城の将来ビジョン」などに事業を引き継ぎ、これからも被災地の復興に向け県政を推進してまいります。次のページより、「宮城県震災復興計画」に掲げる分野1から7までの各取組についてお聞きします。

分野Ⅰ 環境・生活・衛生・廃棄物

取組Ⅰ 被災者の生活環境の確保



取組概要

応急仮設住宅・災害公営住宅の入居者などを幅広く支援する体制を整え、生活支援全般にわたる相談などに対応する。また、被災者の生活再建に向けて、災害公営住宅の供給などによる住宅再建を支援し、さらに、地域コミュニティの再構築や絆を深めるための様々な活動を支援する。

■ 県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

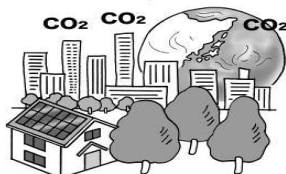
- 被災した高齢者などが災害公営住宅等で安心して生活できるよう、市町が設置するサポートセンター等を支援した。
【成果等】9市町、28か所の拠点(令和2年4月末現在)
- 被災者の生活再建に向けて、災害公営住宅の整備を行った。
【成果等】21市町の計画戸数15,823戸全戸が完成(平成31年3月末)
- 被災者の自力再建を支援するため、二重ローンに対する助成や、住宅再建相談会等を行った。
【成果等】補助金交付決定件数955件、住宅相談会開催回数600件(令和3年3月末現在)
- 仮設住宅から災害公営住宅等への移行後において、自治組織等が自発的に取り組む地域コミュニティ再生活動の支援を行った。
【成果等】補助金交付決定件数37件(令和2年度実績)

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

※ 取組2「廃棄物の適正処理」については、平成25年度で事業が終了しているため、取組についての質問を省略します。

取組3 持続可能な社会と環境保全の実現



取組概要

復興に当たり、省エネルギーの促進や再生可能エネルギー等の導入など、環境負荷の少ないまちづくりに向けた取組を進める。また、震災の影響を踏まえて自然環境の保全に取り組む。

■ 県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 家庭におけるCO₂排出量を削減し、災害時には電源等が確保できる住宅の普及促進のため、太陽光発電設備等の導入や断熱改修の経費の一部の補助を行った。
【成果等】補助件数4,253件(令和2年度実績)
- 環境負荷の低減と環境関連産業の振興に向け、県内事業者に対し、省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備等の導入補助を行った。
【成果等】補助件数51件(令和2年度実績)
- 水素エネルギーの利活用推進に向け、燃料電池自動車(FCV)の購入補助を行ったほか、商用水素ステーションの整備や燃料電池バスの路線導入を支援した。
- 復興まちづくり等に再生可能エネルギーを活用する取組として、調査費等の補助を行った。
- 自然公園などの保全活動を行ったほか、身近な生活環境にみどりを増やす活動の支援を行った。
- 生活環境や自然環境の保全に役立つ森林の働きを発揮させるため、森林所有者等への支援を行いながら、植林や間伐等の森林整備を進めた。
【成果等】森林整備(間伐)面積3,366ha(令和2年度実績)

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

分野2 保健・医療・福祉

取組1 安心できる地域医療の確保



取組概要

地域医療機能の回復に向けて、医療施設の復旧支援を行うほか、医療従事者の確保・流出防止等に取り組む。また、仮設住宅や災害公営住宅等の被災者に対する健康調査やきめ細かい保健活動、健診助成を展開し、健康保持と疾病の早期発見に取り組む。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 医科・歯科の病院及び診療所や薬局が失われた地域において、診療機能を確保し、被災した医療機関等の早期の機能回復を図るため、施設開設者に対して復旧費用に対する補助を行ったほか、医師確保対策に取り組んだ。

【成果等】再開した医療施設(病院・有床診療所)115施設(100%) (平成30年8月末)

- 応急仮設住宅や災害公営住宅等に居住している被災者に対して、健康状態の悪化防止や不安解消を図るため、健康調査を行うとともに、保健師や看護師による健康相談・訪問指導を行った。

【成果等】健康調査5,051世帯より回収(令和2年度実績)

保健師や看護師による健康相談延べ228人、訪問指導等延べ556人(平成30年度実績)

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組2 未来を担う子どもたちへの支援



取組概要

震災で保護者を亡くした子どもたちが、里親等で安定した生活を送れるよう支援するほか、被災地の子どもの不安軽減のため、心のケアの充実を図る。また、保育所等の復旧支援に取り組む。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 国内外から寄せられた寄附金を活用し、震災で保護者を亡くした子どもたちが安定した生活を送り、希望する進路の選択を実現できるよう、奨学金等の給付を行った。

【成果等】給付実績1,089人(震災孤児・遺児数1,109人)、約27億円(令和3年3月末現在)

- 「みやぎ心のケアセンター」を通じて、子どもの心のケアに関する相談、専門職の派遣のほか、沿岸地域の市町や学校、保育所等を対象とした研修を行うなど、幅広い支援を行った。

【成果等】相談件数431件、専門職派遣262回(令和2年度実績)

- 被災した保育所・児童館等の復旧費用に対する補助を行うとともに、被災市町の新たなまちづくりに合わせて、保育所・児童館等の移転、建て替え等の費用に対する補助を行った。

【成果等】再開した保育所数135施設(100%) (令和3年3月末)

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組3 だれもが住みよい地域社会の構築



取組概要

被害を受けた高齢者福祉施設や、障害者福祉施設の復旧に取り組む。また、心のケアをはじめとして、自宅や仮設住宅・災害公営住宅で生活する被災者を幅広くサポートする相談体制を整備するほか、地域包括ケアシステムを全県的に充実・推進するための取組を進める。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 被災した特別養護老人ホーム、障害者支援施設等の社会福祉施設やグループホーム・ケアホーム等の復旧費用に対する補助を行った。
【成果等】再開した高齢者福祉施設198施設(100%)、障害者福祉施設138施設(100%) (令和3年3月末)
- 平成23年に開設した「みやぎ心のケアセンター」と、翌年石巻市と気仙沼市に開設した地域センターを運営し、関係機関と連携して被災者等に対するきめ細かな支援を行った。
【成果等】訪問・面接相談3,456件、電話相談2,398件、講演会32回、研修会88回 (令和2年度実績)
- 災害公営住宅における見守り活動や、被災者の方々に対する生活・健康相談などを行うサポートセンター等の設置・運営の支援を行った。
【成果等】沿岸8市町25か所 (令和3年4月末現在)
- 誰もが住み慣れた地域で可能な限り生活を続けられるよう、医療と介護の連携や地域の支え合い体制の構築など、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの充実・推進に向けた取組を行った。
【成果等】地域課題解決支援等のための講演会・研修会の実施

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

分野3 経済・商工・観光・雇用

取組1 ものづくり産業の復興



取組概要

ものづくり産業の完全復興を目指し、まちづくりの進捗状況に応じたきめ細かな支援を行うとともに、県内中小企業の販路開拓等の支援を行う。また、新たな産業分野の産業集積に向けた企業誘致活動や、自動車、高度電子機械産業分野における取引拡大等の支援を行う。

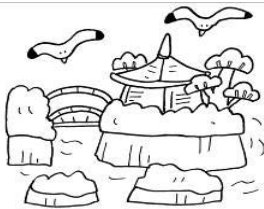
■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 東日本大震災で被災し、復旧が完了していない製造事業者の事業再開に向けた補助金の交付等を行った。あわせて、復興を目指す中小企業に対して、相談窓口を設置するなど、総合的な支援を実施した。
【成果等】補助採択事業者83件、復興関係相談件数140件 (令和2年度実績)
- 震災により受注先の確保が困難となっている県内中小企業等の販路開拓と取引拡大を図るため、企業ニーズに応じて技術支援を行うとともに、新商品開発や海外への販路開拓等に取り組む企業に対し補助金を交付した。
【成果等】技術支援件数735件、補助採択事業者19件 (令和2年度実績)
- 新たな産業分野(クリーンエネルギー、医療等)の産業集積に向けた企業誘致活動等を展開するほか、自動車関連産業や高度電子機械産業分野への地元企業の新規参入や、県内企業の取引創出・拡大などを図るため、セミナーの開催や展示会への出展支援等を行った。
【成果等】セミナー等開催技術支援件数15回 (令和2年度実績)

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組2 商業・観光の再生



取組概要

甚大な被害を受けた商業やサービス業の一刻も早い事業再開を支援し、県民の便利で豊かな生活を支える。また、観光事業者の再建を支援するとともに、風評を払拭し、多様な魅力を有するみやぎの観光を再生させる。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 被災した商業者・観光事業者及び地域の商工会・商工会議所等へ復旧費用の助成を行った。また、震災により販路を喪失した商工業者の販路回復・拡大のため、商談会等を開催した。

【成果等】復旧費用助成 店舗等7件(令和2年度実績), 商工会等29件(令和3年3月末現在)

- 金融機関を通じて被災した中小企業者を対象とした低利・長期の融資を実施し、併せて金利負担を軽減するための利子補給を行った。さらに二重債務対策として、宮城産業復興機構や東日本大震災事業者再生支援機構の債権買取制度の活用促進を図るなど、企業の資金調達の支援を行った。

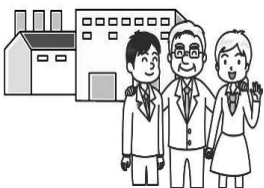
【成果等】被災中小企業者向け融資88件, 利子補給654件(令和2年度実績)

- 令和元年度に引き続き、国内外に人気の高い「ポケモン『ラプラス』」を観光キャラクターに起用し、観光ガイドブックやポスター製作、PR動画の配信等による誘客に取り組んだほか、宿泊割引事業「せんだい・みやぎ絆の宿キャンペーン」・「仙台・宮城すずめのお宿キャンペーン」など、観光産業の回復のための事業を行った。

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組3 雇用の維持・確保



取組概要

被災者等の一日も早い雇用と生活の安定を図るために、雇用を創出する事業のほか、求職者と企業との面接会を開催するなど、雇用の維持・確保に取り組む。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用し、グループ補助金などの産業政策と一体となって安定的な雇用の場の確保を図った。

【成果等】期間の定めのない雇用など安定的な雇用の創出 34,442人(令和3年3月末現在)

- 高校生や大学生を対象とした合同企業説明会や合同就職面接会を開催し、就職の支援を行った。

【成果等】(令和2年度実績)

1. 合同企業説明会

(1) 大学生等向け: 参加企業数77社, 参加者数163人

(2) 高校生向け: 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面式イベントは中止し、県内企業を紹介するウェブページの開設等を行った。

参加企業数193社, ウェブページ閲覧数44,724回(公開期間 令和2年8月4日~令和3年3月31日)

2. 合同就職面接会

(1) 大学生等向け: 参加企業数101社, 参加者数27人

(2) 高校生向け: 参加企業数135社, 参加者数183人

- 石巻市、塩竈市、気仙沼市に設置した「就職サポートセンター」において、登録制により就職支援セミナーや職場見学会を開催するなど、就職に向けた支援を行った。

【成果等】新規登録者数1,682人, 就職者数1,013人(令和2年度実績)

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

分野4 農業・林業・水産業

取組1 魅力ある農業・農村の再興



取組概要

津波被害を受けた農地及び損壊した農業用施設の復旧を引き続き進める。また、競争力ある農業の実現に向けて、先進的な技術に取り組む園芸生産者に対する支援や、経営感覚に優れた担い手の育成、農地集積による規模拡大など、生産力・経営力強化を進め、魅力ある農業・農村の再興に取り組む。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 営農の再開に向け、東日本大震災に係る農地・農業用施設の復旧復興のロードマップに基づき、生産基盤の早期復旧を図った。

【成果等】復旧対象農地約13,000haの復旧率100%（令和3年3月末）

- 農畜産物の生産力回復のため施設等の復旧に取り組んだ。また、競争力ある農業の実現に向けて、先進的な技術導入と経営安定化支援を一体的に行い、農業者の生産力・経営力強化に取り組んだ。

【成果等】復旧対象園芸用ガラス室・ハウス約178haの復旧率100%（平成30年11月末）

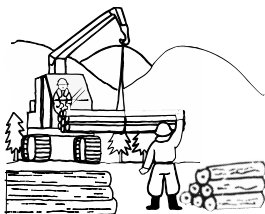
復旧対象畜舎・畜産関連施設186施設の復旧率100%（平成31年3月末）

- 地域農業の将来像を描いた「人・農地プラン」の継続的な話し合いや見直しを支援し、その実現に向けた農地中間管理事業による担い手への農地集積の取組を推進した。

この取組に対するあなたの重視度（問1）と満足度（問2）について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組2 活力ある林業の再生



取組概要

県産木材の主要な受入先である沿岸部における木材加工施設の生産が回復したことから、今後は、県産木材の供給体制強化や木質バイオマスの利用拡大に取り組む。また、引き続き、被災住宅の再建支援や津波により流失した海岸防災林の早期復旧を進める。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 被災した合板工場や製材工場などの復旧が完了したことから、県産木材の供給体制強化に向け、木材加工流通施設整備や生産体制の整備としての路網整備及び高性能林業機械の導入へ支援を行った。

【成果等】宮城県における林業産出額86億円（目標値95億円）（令和元年度実績）

- 被災した海岸防災林753haの早期復旧に向け、盛土等基盤造成とクロマツ等の植栽を実施した。

【成果等】海岸防災林の復旧面積747ha（令和3年3月末現在）

- 県産木材を使用した木造住宅建築への補助事業を通じ、被災者の住宅再建の支援を行った。

【成果等】県産材利用エコ住宅普及促進事業補助4,937棟 うち被災者住宅支援2,473棟（令和3年3月末現在）

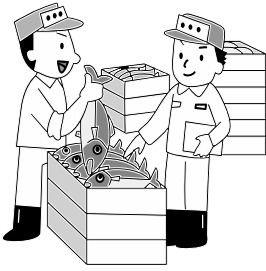
- 木質バイオマスの利用拡大を図るため、施設導入支援のほか、これまで森林内に放置された未利用間伐材の搬出・運搬等への支援を行った。

【成果等】木質バイオマス活用導入施設数65基（目標値50基）（令和3年3月末現在）

この取組に対するあなたの重視度（問1）と満足度（問2）について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組3 新たな水産業の創造



取組概要

水産業の早期復興に向けて、漁港や魚市場及び水産加工施設などを含めた拠点整備に取り組む。また、流通加工及び養殖関連施設等については、共同化などによる再整備を進め、安全・安心な生産物の安定供給を図る。さらに、魅力ある水産業の形成に向けて、新規漁業就業者の確保及び後継者となる担い手の育成を推進するため、「みやぎ漁師カレッジ」による研修など就業支援を行う。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 震災により被災した、県内各漁港139港（県管理漁港27港，市町管理漁港112港）の漁港施設の復旧工事を行った。
【成果等】漁港施設災害復旧工事完成率94%（令和3年3月末現在）
- 震災で被災した水産業共同利用施設（漁具倉庫・作業場など）の復旧・整備や修繕，機能回復に不可欠な機器整備の費用に対する補助を行った。
【成果等】復旧施設設計：養殖関連施設262件，流通加工関連施設の応急復旧82件・新築整備44件（令和3年3月末現在）
- 震災の影響で沿岸漁業者がより一層減少傾向にあるため、「みやぎ漁師カレッジ」を核として、漁師になるために必要な知識及び技術の習得に向けた研修を行った。
【成果等】みやぎ漁師カレッジ累計受講生：短期研修52人，長期研修28人（令和3年3月末現在）

この取組に対するあなたの重視度（問1）と満足度（問2）について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組4 一次産業を牽引する食産業の振興



取組概要

食産業の早期復興のため、被害の著しい沿岸部の水産加工事業者を中心に、商品づくりから販売促進活動までの総合的な支援に取り組む。また、県産品の商談会や様々なPR活動等を通じて事業者の販売促進活動を支援し、被災による消費需要の落ち込みや風評被害に対処する。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 県産品の販路拡大に向けた機会創出のため、ウェブを活用した商談会の開催や大規模商談会への出展支援を行った。
【成果等】商談会出展支援数167件（令和2年度実績）
- 食品加工業者の総合的な販路開拓支援のため、企業へ専門家を派遣するとともに、商品づくりや商談会出展に要する経費等の助成を行った。
【成果等】専門家派遣12件，商品づくり等補助28件（令和2年度実績）
- 県産農林水産物の安全確保のため、産地・海域毎に放射性物質検査を実施し、検査結果を随時新聞や県ホームページで公表した。
【成果等】検査点数9,223点（令和2年度実績）

この取組に対するあなたの重視度（問1）と満足度（問2）について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

分野5 公共土木施設

取組1 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進



取組概要

震災により被災した施設の機能回復を図るため、本格復旧に取り組むとともに、県土の骨格を形成する高規格幹線道路による高速交通網の整備促進や、国内外に開かれた海上広域物流拠点の整備及び空港機能の充実に取り組む。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 被災した道路の復旧を進めるとともに、大規模災害時にも有効に機能する「防災道路ネットワーク」の構築を目指し、三陸沿岸道路などの沿岸南北軸、みやぎ県北高速幹線道路などの東西交通軸の整備に合わせ、主要幹線となる国道・県道の整備や復興まちづくりと一体となった道路整備に取り組んだ。

【成果等】<復旧> 道路・橋梁施設の復旧率(箇所)99%(令和3年3月末現在)

<復興> 三陸沿岸道路等の開通

- 被災した港湾施設の復旧を進めるとともに、港湾機能の強化や津波・高潮から物流機能を確保する防潮堤等の整備、新規港湾利用者等の開拓や利用継続に向けた企業訪問やセミナー開催に取り組んだ。

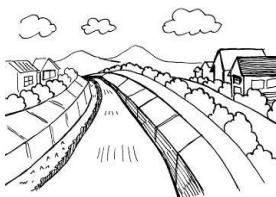
【成果等】<復旧>港湾施設の復旧率(箇所)95%(令和3年3月末現在), 着手率(箇所)100%

- 仙台空港民営化の実現から5年が経過し、ターミナルビルの施設のリニューアルや航空路線の拡充などが進み、空港の利便性が向上した。また、令和2年度は宮城・東北の持続的な発展に寄与する、仙台空港の運用時間24時間化が可能となった。

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組2 海岸、河川などの県土保全



取組概要

被災した海岸保全施設について、頻度の高い津波を想定した海岸堤防の復旧に取り組む。被災した河川管理施設については、本格復旧に取り組むとともに、地盤沈下の影響などによる低平地の浸水被害リスクを軽減させるため、総合的な洪水防御対策に取り組む。また、土砂災害防止対策を実施する。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 津波や高潮から防御するため、海岸保全施設等の緊急復旧対策を早急を実施するとともに、背後地で行われるまちづくりと連携し、防災・減災機能を強化しながら本格復旧に取り組んだ。

【成果等】海岸保全施設の復旧率(箇所)90%(令和3年3月末現在), 着手率(箇所)100%

- 決壊した河川堤防等の応急復旧を早急に完了させ、本格復旧を実施した。また、地盤沈下の影響により、洪水被害のリスクが高まった低平地の治水安全度を早急に向上させるため、河道改修やダムなどの整備による総合的な洪水防御対策に取り組んだ。

【成果等】河川施設の復旧率(箇所)93%(令和3年3月末現在), 着手率(箇所)100%

- 土砂災害を防ぐため総合的な土砂災害防止施設(土石流・地滑り・急傾斜地の崩壊等)の整備を実施した。また、災害時の警戒体制のための土砂災害警戒区域の指定を推進した。

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組3 上下水道などのライフラインの整備



取組概要

東日本大震災により被災した上下水道などのライフラインは復旧が完了し、今後は施設の安全性をより向上させるため、長寿命化や耐震化等の整備を行う。また、市町村等に対する被災箇所の復旧・支援についても継続して行う。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 流域下水道施設の老朽化に対応するため、施設の整備を行った。

【成果等】老朽化した施設（送風機・計装機器）の更新工事を実施

- 安全な水道用水・工業用水の安定供給に向けて進めてきた管路・施設等の復旧工事が完了した。また、管路・施設の耐震化や緊急時におけるバックアップ施設の整備を行った。

【成果等】基幹土木施設の耐震化工事の実施，送水連絡管整備工事・送水管路更新工事の実施

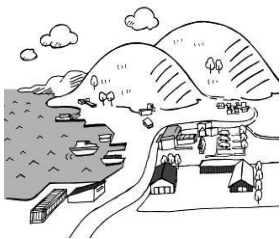
- 被災した市町村に対して、上下水道施設の復旧の完了に向けて、技術的な支援を行った。

【成果等】支援事業体数 上水道施設11事業体（上水道11事業，簡易水道11事業），下水道施設11市町

この取組に対するあなたの重視度（問1）と満足度（問2）について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組4 沿岸市町をはじめとするまちの再構築



取組概要

被災市町と連携し、住民の合意形成や地域コミュニティの確保などに配慮しながら、それぞれの地域に応じた新しいまちづくり事業に取り組む。また、被災した市街地では、土地利用の回復を図るために、まちづくりに整合した基盤整備を行う。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 津波被害やその恐れがあり、住居に適さないと認められる場所に住んでいる方の安全な場所への集団移転を進めるため、関係機関との調整や技術的なアドバイスを行うなど市町への支援を行った。すべての地区で住宅等の建築工事が可能となった。

【成果等】住宅等の建築が可能になった防災集団移転促進事業地区の数195地区（100%）（平成31年1月末）

- 東日本大震災により亡くなられた方々への追悼、震災の記憶と教訓を後世に伝承するとともに、日本の再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すことなどを目的とした、「石巻南浜津波復興祈念公園」の整備を行った。

【成果等】整備率100%（令和3年3月末）

- 二度と同じ津波被害を受けないよう、多重防御施設や避難路ともなる都市計画道路の整備を行った。

【成果等】完了4路線，現在3路線を実施（令和3年3月末現在）

この取組に対するあなたの重視度（問1）と満足度（問2）について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

分野6 教育

取組 1 安全・安心な学校教育の確保



取組概要

震災で被害を受けた学校施設の復旧，児童生徒等に対する就学支援や心のケアを行うとともに，震災の経験を踏まえ，防災教育の充実やより良く生きる態度を育てる「志教育」の一層の推進に取り組む。

■ 県はこれまで，こんな取組を主に行ってきました。

- 児童生徒等が安心して教育を受けることができる環境を整備するため，震災で被害を受けた県立学校の復旧工事を進めた。

【成果等】災害復旧工事が完了した県立学校数(進捗率)91校(100%) (平成30年8月末)

- 震災による環境の変化などに伴う児童生徒等の心のケアやいじめ・不登校等の課題にきめ細かく対応するため，スクールカウンセラー等の配置・派遣など，支援体制の充実を図ったほか，被災した児童生徒等が安心して就学できるよう，学用品費等の支給や給食費の援助，奨学資金の貸付け等を行った。

【成果等】スクールカウンセラーの配置率(市町村教育委員会・公立中学校・県立高等学校)100%(令和2年度実績)

- 学校教育における防災教育の充実や地域と連携した防災体制の整備を図るため，公立小・中学校及び県立学校に防災主任を配置したほか，「志教育」を通じて宮城の復興を支える人材を育成するため，地区別の事例発表会の開催や「みやぎの先人集」の活用を促した。

【成果等】防災主任の配置率(県内公立学校)100%(令和2年度実績)

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について，それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組 2 家庭・地域の教育力の再構築



取組概要

学校が家庭・地域と協働して地域全体で子どもを育てる仕組みづくりを進めるとともに，学校安全体制の強化に地域と連携して取り組む。

■ 県はこれまで，こんな取組を主に行ってきました。

- 震災により子どもを育てる環境が変化したことを踏まえ，家庭の教育力の向上を図り，地域全体で子どもを育てる体制を整備するため，子育てサポーターなどの人材育成や家庭教育等に関する情報提供を行った。

【成果等】家庭教育支援に関する研修会への参加延べ人数9,013人(令和2年度実績)

- 放課後や週末等に学校の教室等を利用し，安全・安心な学習活動拠点を設けるとともに，地域の方々の参画(ボランティア等)を得ながら，子どもたちが様々な学習・体験活動ができるよう支援を行った。

- 幼児教育の充実のため，研修会等を通じて「学ぶ土台づくり」の普及啓発を行ったほか，子どもたちの基本的生活習慣の定着促進のためのチャレンジ活動や企業・団体等と連携した取組を行った。

- 子どもたちが自然災害や犯罪，交通事故等から身を守る能力を高めるための安全・防犯教室や，スクールガード(学校安全ボランティア)の養成講習会等を開催し，地域と連携した学校安全体制の強化に取り組んだ。

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について，それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組 3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実



取組概要

震災で被害を受けた社会教育・社会体育施設の復旧、住民主体による地域づくりに向けた生涯学習活動の支援などを行うほか、震災で被害を受けた貴重な文化財の修理・修復や歴史・民俗資料の保全に努め、地域文化の振興に取り組む。

■ 県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

○ 震災の記憶・記録を後世に伝えるため、震災に関する図書・雑誌・映像などを収集し、県図書館に「東日本大震災文庫」を設置したとともに、「東日本大震災アーカイブ宮城」をインターネット上で公開した。また、被災した文化財を所有する個人や自治体等に対する修理・修復費用の補助、被災地域における河川護岸復旧や道路建設などの復興事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行った。

【成果等】被災文化財(国・県・市町村指定等)の修理・修復事業完了件数102件(令和2年度実績)

○ 県民の多様な学習機会を提供するための各種講座の開催のほか、スポーツを通して活力と絆のあるみやぎを創るため、地域における県民参加型のスポーツイベントの開催や総合型地域スポーツクラブの設立・育成に対する支援などを行った。

○ 津波で大きな被害を受けた松島自然の家の復旧工事が令和2年度に完了したことにより、全ての県立社会教育施設、社会体育施設の復旧が完了した。

【成果等】災害復旧工事が完了した県立社会教育施設・社会体育施設数(進捗率)15施設(100%)(令和3年3月末)

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

分野7 防災・安全・安心

取組1 防災機能の再構築



取組概要

沿岸市町の職員確保等を支援するとともに、消防・防災施設等の整備及び機能強化を行う。また、東京電力福島第一原子力発電所の事故により生じた県民の不安の解消に取り組む。

■ 県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

○ 震災により大きな被害を受けた沿岸部市町に対し、復興関連事業を行う上で必要な職員確保等の支援を行った。

【成果等】全国から沿岸部市町への職員派遣159人(県からの派遣31人を含む)(令和3年4月1日現在)

○ 震災により多くの消防庁舎や消防車両が失われた沿岸部市町の消防力を回復・強化するため、国の補助制度等を活用する市町村事業が円滑に進むよう支援した。

【成果等】復旧状況:消防防災施設(消防団拠点施設含む)224棟, 消防車両181台(令和3年3月末現在)

○ 東京電力福島第一原子力発電所事故により生じた県民の不安を解消するため、放射線・放射能の測定を行ったほか、放射線・放射能情報をまとめたウェブサイトにおいて、情報を一元化して正確でわかりやすい情報発信を行った。

【成果等】県内全市町村に設置したモニタリングポストによる空間放射線量率のリアルタイム公表。

住民が持ち込む食材の放射能測定機器の配備及びその測定結果の公表。累計約33,200件(令和3年3月末現在)

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組2 大津波等への備え



取組概要

震災を踏まえ、沿岸市町の津波避難計画の作成・見直しの支援を行う。また、震災の教訓を後世へ語り継いでいくほか、県民の防災意識の醸成を図るため、意識啓発活動の推進に取り組む。

■ 県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

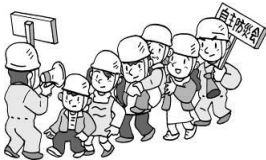
- 地域防災計画（津波災害対策編等）の継続的な見直しを行ったほか、沿岸市町の津波避難計画の策定・見直しの支援のため「宮城県津波対策ガイドライン」を策定した。
- 東日本大震災の津波浸水域に津波の浸水深を表す「津波浸水表示板」を設置し、被災事実の伝承、津波防災の啓発を行った。

【成果等】320か所、399枚設置（令和3年3月末現在）

この取組に対するあなたの重視度（問1）と満足度（問2）について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組3 自助・共助による市民レベルの防災体制の強化



取組概要

市町村と連携して地域防災リーダーの育成を推進するなど、地域における防災活動の充実に向けた支援を行う。

■ 県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 地域や企業における防災活動の中心となる防災リーダーの養成やスキルアップのための講習を開催し、自主防災組織の育成、防災訓練の参加促進、防災教育の充実を図った。
- 災害時にも、誰もが安全で安心な生活を送ることができるように、男女共同参画の視点を取り入れた避難所の運営や防災・減災についての講座を開催した。
- 将来の地域の防災活動の担い手を育成するため、防災に関する知識・技術を習得し、防災・減災への取組に自発的に協力、活動する高校生を「みやぎ防災ジュニアリーダー」として養成した。

【成果等】みやぎ防災ジュニアリーダー234人（令和3年3月末現在）

この取組に対するあなたの重視度（問1）と満足度（問2）について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

取組4 安全・安心な地域社会の構築



取組概要

警察施設の機能強化を図るとともに、被災地を中心としたパトロール活動を強化し、防犯と安全かつ円滑な交通環境に配慮した安全・安心な地域社会の構築を図る。

■ 県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 安全・安心まちづくりに関する意識を高めるため、地域安全教室への講師派遣や防犯に係る多様な主体が参加する地域ネットワークフォーラムの開催を通じ、広報・周知に努めた。
- 学校等を対象に、防犯チラシやメール等を活用して防犯情報や生活安全関連情報を提供するとともに、防犯ボランティア団体の結成（令和2年12月末現在339団体）や防犯リーダーの育成の促進など、関係機関や地域住民と連携した防犯対策を推進した。

【成果等】刑法犯認知件数（警察が把握した犯罪の件数）10,193件、交通事故死者数44人（令和2年実績）

この取組に対するあなたの重視度（問1）と満足度（問2）について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

宮城県の復旧・復興の進捗状況についてお聞きします。

宮城県では、「宮城県震災復興計画」において、平成23年度から平成25年度までの3年間を「復旧期」、平成26年度から平成29年度までの4年間を「再生期」、平成30年度から令和2年度の3年間を「発展期」と位置づけ、震災からの復旧・復興を最優先に取組を進めてきました。

特に復興の総仕上げとなる「発展期」では、復旧にとどまらない抜本的な再構築による「創造的な復興」を実現し、復興需要後を見据えた地域経済の活性化や人手不足対策、子育て支援や医療・福祉体制の充実、志教育の推進など、「宮城の将来ビジョン」（平成19年度～令和2年度）で掲げた将来の姿を実現できるよう施策を展開してきました。

問1 あなたは、宮城県の全般的な復旧・復興について、進んでいると感じていますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 進んでいると感じる 2 やや進んでいると感じる
3 やや遅れていると感じる 4 遅れていると感じる 5 分からない

※ 【1】【2】【3】【4】を選んだ方は付問1に、【5】を選んだ方は次ページに進んでください。

付問1 問1で【1】【2】【3】【4】を選んだ方にお聞きします。

復旧・復興が進んでいる（やや進んでいる・やや遅れている・遅れている）と感じた取組について、1から25のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

分野1 環境・生活・衛生・廃棄物	1 被災者の生活環境の確保 2 廃棄物の適正処理 3 持続可能な社会と環境保全の実現
分野2 保健・医療・福祉	4 安心できる地域医療の確保 5 未来を担う子どもたちへの支援 6 だれもが住みよい地域社会の構築
分野3 経済・商工・観光・雇用	7 ものづくり産業の復興 8 商業・観光の再生 9 雇用の維持・確保
分野4 農業・林業・水産業	10 魅力ある農業・農村の再興 11 活力ある林業の再生 12 新たな水産業の創造 13 一次産業を牽引する食産業の振興
分野5 公共土木施設	14 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進 15 海岸、河川などの県土保全 16 上下水道などのライフラインの整備 17 沿岸市町をはじめとするまちの再構築
分野6 教育	18 安全・安心な学校教育の確保 19 家庭・地域の教育力の再構築 20 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実
分野7 防災・安全・安心	21 防災機能の再構築 22 大津波等への備え 23 自助・共助による市民レベルの防災体制の強化 24 安全・安心な地域社会の構築
25 その他	()

新・宮城の将来ビジョンについてお聞きします。

これまで実施してきた「宮城の将来ビジョン」、「宮城県震災復興計画」及び「宮城県地方創生総合戦略」の理念を1つにまとめ、今後10年間の計画として令和3年度から「新・宮城の将来ビジョン」がスタートしました。「新・宮城の将来ビジョン」では、今後見込まれる社会の変化等を踏まえながら、将来の宮城のあるべき姿や目標を県民の皆さんと共有し、その実現に向けて取り組んでまいります。

○ビジョンの位置づけ

県政運営の基本的な指針であり、県の施策や事業を進める上での中長期的目標と位置づけるものです。本ビジョンでは、宮城県の特徴や各地域の特性を踏まえ、将来にわたり発展し続けていく宮城を構築するため、県として重点的に取り組むべきテーマや目指す姿などを明確にした上で、その実現に向けた中長期的な取組の方向性を明示しています。

○計画期間

10年間（前期：令和3年度～令和6年度，中期：令和7年度～令和9年度，後期：令和10年度～令和12年度）

○「持続可能な未来」のための8つの「つくる」

本ビジョンでは、4つの政策推進の基本方向に基づき、「持続可能な未来」のための8つの「つくる」と、18の取組を推進します。

政策推進の基本方向1 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

- つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる
- つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

政策推進の基本方向2 社会全体で支える宮城の子ども・子育て

- つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる
- つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

政策推進の基本方向3 誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

- つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる
- つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

政策推進の基本方向4 強靱で自然と調和した県土づくり

- つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる
- つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

◆ これから8つの「つくる」について質問しますので、「つくる」ごとの説明を読んだ上で、質問にお答え下さい。

各取組の目標値は前期(令和6年度まで)のものを記載しています。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響等の理由により、一部目標値が記載されていないものもあります。

つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる

農林水産業やものづくり産業、地域を支える商業や観光業といったサービス産業など、先進的技術の活用などにより、幅広い分野で「商品やサービスの付加価値を向上させる」「仕事に費やす時間や労力を減らす」取組を促進し、多種多様に变化する時代のニーズにしなやかに対応できる県内産業を構築する。

《つくる1で県が行う主な取組》

取組1 産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出

【主な取組】

- ・地域経済の核となるものづくり産業の誘致や集積を進めるとともに、先進的技術の活用を促進し、ICT産業等の振興を図る。
- ・最先端の研究開発拠点の形成に向けて、産学官の連携を促進し、産業や地域の課題・ニーズとのマッチングを支援する。
- ・ものづくり産業のさらなる技術力・収益力の向上に向けて、付加価値の高い製品・サービスの開発を支援する。



【主な成果等】

- ◎県内における企業立地件数【累計】(R6までの目標:465件) 347件(R1)→364件(R2)
- ◎産学官連携の取組件数(R6までの目標:2,594件) 2,234件(R1)→2,331件(R2)
- ◎県の製造品出荷額等(食料品製造業を除く)(R6までの目標:4兆1,289億円) 4兆80億円(H30)→3兆8,676億円(R1)

取組2 宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興

【主な取組】

- ・高付加価値な観光産業の実現のため、地域資源を生かした観光コンテンツの創出・磨き上げや関連産業との連携強化に取り組む。
- ・施設改修・人材育成等の受入環境整備や戦略的な情報発信により国内外の誘客を図る。
- ・地域特産品の開発、商店街ビジョン形成、新たな担い手の創出や買い物機能の強化等、地域課題やニーズに対応した商業・サービス業の振興を図る。

【主な成果等】

- ◎観光客入込数 6,796万人(R1)→3,945万人(R2の速報値)
- ◎外国人延べ宿泊者数 53.4万人泊(R1)→12.2万人泊(R2)
- ◎観光消費額 3,989億円(R1)→2,513億円(R2)
- ◎サービス業の付加価値額(R6までの目標:2兆8,560億円) 2兆7,720億円(H29)→2兆8,118億円(H30)

取組3 地域の底力となる農林水産業の国内外への展開

【主な取組】

- ・需要の変化に対応した園芸の生産・流通体制の構築を支援する。
- ・スマート水産業の推進, 担い手の確保・育成など漁村地域の活性化に取り組む。
- ・全国豊かな海づくり大会を開催し, 復興が進んだ宮城の水産業の魅力と環境保全の大切さを発信する。
- ・新たな木質建材の技術開発や担い手対策の強化のほか, ICT技術を活用したスマート林業を推進する。
- ・県産品の付加価値を高める商品開発と国内外への販路拡大を支援する。

【主な成果等】

- ◎園芸産出額(R6までの目標:467億円) 333億円(H30)→323億円(R1)
- ◎漁業産出額(R6までの目標:789億円) 789億円(H30)→834億円(R1)
- ◎林業産出額(R6までの目標:101億円) 85億円(H30)→86億円(R1)
- ◎製造品出荷額等(食料品製造業)(R6までの目標:6,900億円) 6,576億円(H30)→6,579億円(R1)

つくる1 全産業で, 先進的取組と連携によって新しい価値をつくる					
あなたの重視度(問1)と満足度(問2)について, それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。					
問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない
今後優先すべきと思うテーマについて, 次の中から番号を選び○をつけて下さい(複数選択可)					
産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出	1 地域経済の核となる企業の誘致と先進的技術の活用促進 2 研究開発拠点の形成や産学官連携による地域産業の活性化 3 県内のものづくり産業の技術力・収益力の向上				
宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興	4 観光資源の創出・磨き上げによる高付加価値な観光産業の実現 5 観光客の受入環境整備と戦略的な情報発信による誘客促進 6 地域課題やニーズに対応した商業・サービス業の振興				
地域の底力となる農林水産業の国内外への展開	7 農林水産業の持続的発展と食産業の振興 8 県産農林水産物の販路開拓や適切な生産管理の支援 9 食の安全の確保と相互理解に基づく食の安心の促進				

つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

時代の変化に対応し、新しい価値を創出できる産業人材の育成や事業承継、企業の経営支援に取り組む。また、空港や港湾、道路や農地などの産業基盤の機能強化や東北各県との広域連携の推進など、県内産業の持続的な発展を担うヒト・モノの育成、活躍を促進する。

《つくる2で県が行う主な取組》

取組4 時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備

【主な取組】

- ・子どもたちが地域産業に触れる機会を創出しながら、県内での就職や地元定着の促進により、産業人材を育成する。
- ・誰もが柔軟に働き続けるための環境整備のほか、学び直しやリカレント教育などキャリアアップに向けた体制を整備し、その利用拡大を推進する。
- ・個人や企業が市場ニーズへの対応や地域課題の解決ができるよう、事業アイデアの実現や経営力強化に向けた支援制度を充実する。



【主な成果等】

- ◎高校生の県内製造業就職率(R6までの目標:35%) 32.6%(H30)→33.7%(R1)
- ◎学び直しやリカレント教育の取組件数(R6までの目標:62件) 59件(R2)
- ◎開業率(県内で新規開業した事業所の割合)(R6までの目標:4.8%) 3.6%(R1)→4.1%(R2)

取組5 時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用

【主な取組】

- ・仙台塩釜港(仙台港区)について、AI や IoT 等先進的技術も活用しつつ、物流拠点機能を整備・強化し、その利活用を推進する。
- ・全国初の民营化空港である仙台空港について、民間の力を最大限に活用し、その利活用を推進する。
- ・ここ宮城を玄関口に、全国、全世界から東北へ広くヒト・モノを呼び込む「東北のゲートウェイ」としての港湾、空港等インフラを活用しつつ、東北各県との連携を更に強化し、交流人口の拡大を推進する。

【主な成果等】

- ◎仙台塩釜港(仙台港区)におけるコンテナ貨物の取扱量(実入) 197,277 TEU(R1)→185,446 TEU(R2)
- ◎仙台空港乗降客数 3,612,738人(H30)→3,718,180人(R1)
- ◎東北6県及び新潟県の延べ宿泊者数 4,061万人泊(H30)→4,294万人泊(R1)

つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

あなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけて下さい(複数選択可)

時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 1 県内への就職・就業の促進と産業人材の育成 2 誰もが柔軟に働き続けるための環境の整備 3 学び直しやリカレント教育の振興 4 創業や経営力強化の支援
時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> 5 生産・物流・交流基盤の機能強化 6 産業基盤の有効活用 7 東北のゲートウェイ機能の強化

つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

結婚、妊娠・出産、子育てについて切れ目のない支援を充実させるなど総合的な少子化対策を推進するとともに、家庭・地域・学校が連携・協働した活動を深化させ、未来の宮城を担う子どもたちに対する、福祉・教育分野における更なる支援の充実や取組の強化を図る。

《つくる3で県が行う主な取組》

取組6 結婚・出産・子育てを応援する環境の整備

【主な取組】

- ・結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援の一環として、令和2年度までは「みやぎ青年婚活サポートセンター」、令和3年度からは新たに「みやぎ結婚支援センター」により結婚支援事業を実施し、結婚支援の強化を図る。
- ・地域や関係機関と連携し、妊娠・出産期から子育て期までの切れ目のない支援の充実を図る。
- ・社会全体で子育てに取り組む気運を醸成し、安心して子育てができる環境を整備する。

【主な成果等】

- ◎みやぎ青年婚活サポートセンター登録者数 201人(R2)
- みやぎ結婚支援センター登録者数 (R3までの目標:250人【参考値】)
- ◎「みやぎっこ応援の店」登録店舗数【累計】(R6までの目標:3,000店) 2,181店(R2)
- ◎保育所等利用待機児童数(仙台市含む)(R6までの目標:0人) 340人(R2)

取組7 家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築

【主な取組】

- ・貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、地域や関係機関と連携し、成育環境の整備や教育機会の均等を図る。
- ・地域や関係機関の連携による児童虐待の防止や、要保護児童に対する社会的養育体制の充実を図る。
- ・社会全体で家庭教育を支える環境づくりや子どもの基本的な生活習慣の定着に向けた取組を促進する。

【主な成果等】

- ◎県内における子ども食堂の数【累計】(R6までの目標:180か所) 70か所(R2)
- ◎里親委託率(R6までの目標:51.4%) 37.8%(R1)
- ◎「家庭教育支援チーム」の活動件数(R6までの目標:101件) 79件(R1)

つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる					
あなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。					
問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない
今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけて下さい(複数選択可)					
結婚・出産・子育てを応援する環境の整備	1 結婚、妊娠、出産の希望を叶えるための支援 2 子育て家庭のニーズに応じた支援 3 子育て支援体制の充実や社会全体の気運醸成				
家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築	4 成育環境の整備や教育機会の均等 5 児童虐待の防止や社会的養育体制の充実 6 子どもへの基本的な生活習慣の定着や家庭教育支援の充実 7 家庭・地域・学校の連携・協働の推進				

つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

多様でめまぐるしい変化が予想されるこれからの社会において、子どもたち自らが置かれた環境や状況と向き合って生きる柔軟性や適応力を養うとともに、夢や志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力をはぐくむ教育を展開する。あわせて、安心して充実した学校生活を送ることができる教育環境を整える。

《つくる4で県が行う主な取組》

取組8 多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成

【主な取組】

- ・体系的なキャリア教育による、豊かな人間性や社会性をはぐくむ取組を推進する。
- ・確かな学力の育成と新しい価値を創造する力をはぐくむ取組を推進する。
- ・健康な身体づくりや体力・運動能力の向上に向けた取組を推進する。

【主な成果等】

◎「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合

小5 (R6までの目標:92%) 90.6%(R1), 中1 (R6までの目標:83%) 81.3%(R1)

◎全国平均正答率とのかい離(ポイント)

小6 (R6までの目標:0P) -3.0P(R1), 中3 (R6までの目標:0P) -3.5P(R1)

◎体力合計点の全国平均値とのかい離(ポイント)

小5 (R6までの目標:男女ともに +0.1P) 【男】-0.36P(R1), 【女】-0.33P(R1)

中2 (R6までの目標:男女ともに +0.1P) 【男】+0.08P(R1), 【女】-1.01P(R1)

取組9 安心して学び続けることができる教育体制の整備

【主な取組】

- ・魅力や特色のある学校づくりに向けた取組を推進する。
- ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた切れ目のない支援体制を整備する。
- ・教員の資質能力の向上に向けた取組を推進する。

【主な成果等】

◎「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合

小5 (R6までの目標:88%) 86.7%(R2), 中1 (R6までの目標:82%) 88.3%(R2)

◎不登校児童生徒のうち学習支援を受けている児童生徒の割合

小学生 (R6までの目標:80%) 68.5%(R1), 中学生 (R6までの目標:80%) 72.6%(R1)

◎授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合 (R6までの目標:72.5%) 66.5%(R1)

つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

あなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけて下さい(複数選択可)

多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 1 豊かな人間性や社会性の育成 2 自己実現のための確かな学力の育成 3 新たな時代に必要な資質・能力の育成 4 健康な身体づくりや体力・運動能力の向上
安心して学び続けることができる教育体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 5 魅力や特色ある学校づくり 6 共生社会の実現に向けた教育の推進 7 いじめ対策・不登校支援の総合的な推進 8 教職員支援体制の充実

つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる

年齢・性別・国籍等に関わらず多様な主体がいきいきと社会に関わることができる環境を整え、社会参画を促すとともに、様々な交流や特色ある地域活動を促進する。あわせて、文化芸術・スポーツなど、県民の活動や学びのための場や人づくりを進め、それぞれの豊かな暮らしや地域の活性化につなげる。
《つくる5で県が行う主な取組》

取組 10 就労や地域活動を通じた多様な主体の社会参画の促進

【主な取組】

- ・「女性のチカラを活かす企業」認証制度を普及し、女性も働きやすい環境づくりを促進する。
- ・県内市町村が取り組む地方創生の取組を支援し、地域コミュニティの機能強化や活性化を図る。
- ・県内企業の外国人材の受入環境の整備を支援し、外国人雇用者と企業のマッチングを促進する。

【主な成果等】

- ◎女性のチカラを活かすゴールド認証企業数(R6までの目標:46社) 34社(R2)
- ◎地方創生推進交付金の活用事業数(市町村分)【累計】(R6までの目標:283事業) 163事業(R2)
- ◎外国人雇用者数(技能実習生を除く)(R6までの目標:15,033人) 9,118人(R1)→9,386人(R2)

取組 11 文化芸術・スポーツ活動と生涯学習の振興

【主な取組】

- ・「みやぎ県民文化創造の祭典」を支援し、誰もが文化芸術に親しめる環境をつくる。
- ・「総合型地域スポーツクラブ」の設立を支援し、誰もがいつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツを楽しめる環境を整える。
- ・地域社会と結びついた学びの場の充実を図り、誰もが生涯を通して主体的・自発的に学び、その成果を社会に還元できる環境を整備する。

【主な成果等】

- ◎「みやぎ県民文化創造の祭典参加者」文化芸術が身近な所で様々な分野に活用され地域の活性化に役立っていると思う人の割合(R6までの目標:60.0%) 27.5%(R2)
- ◎「総合型地域スポーツクラブ」市町村における育成率【累計】(R6までの目標:100.0%) 77.1%(R2)
- ◎市町村社会教育講座の参加者数(人口千人あたり)(R6までの目標:756人) 744人(H30)→738人(R1)

つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる

あなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない
今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけて下さい(複数選択可)					
就労や地域活動を通じた多様な主体の社会参画の促進	1	様々な状況に対応した就業の支援			
	2	女性や高齢者等の社会参画の促進			
	3	地域コミュニティの機能強化と活性化の支援			
	4	外国人が活躍しやすい社会の構築			
文化芸術・スポーツ活動と生涯学習の振興	5	文化芸術の振興			
	6	文化芸術やスポーツの多方面への活用			
	7	スポーツの振興			
	8	様々な機会の学びの活性化			

つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

暮らしに必要な保健福祉や防犯などの基礎的な機能やサービスについて、地域の実情や社会の変化に対応し、関係機関や地域等が連携し、持続的なサービスの提供体制を構築するなど、「元気に」そして「安全・安心に」暮らすことができる地域社会をつくる。

《つくる6で県が行う主な取組》

取組 12 生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供

【主な取組】

- ・「スマートみやぎ健民会議」を基盤とし、健康づくり県民運動を推進する。
- ・将来、自治体病院等で勤務する意志を有する医学生・看護学生に対する、修学資金の貸し付けを行う。
- ・介護職の働き方改革支援、外国人受入支援に加え、介護イメージアップ事業を展開する。

【主な成果等】

- ◎メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合（R6までの目標：29.4%以下） 30.9%（H30）→31.4%（R1）
- ◎県の施策による自治体病院等（県立病院を除く）への医師配置数及び新規看護職員充足率
医師配置数（R6までの目標：179人） 114人（R1）→118人（R2）
新規看護職員充足率（R6までの目標：100%） 77.6%（R1）→79.1%（R2）
- ◎介護サービス事業所の介護職員数【累計】（R6までの目標：40,177人） 32,870人（R1）→33,061人（R2）

取組 13 障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現

【主な取組】

- ・障害者の地域生活移行促進のため、住まいの場のグループホームの整備支援を行う。
- ・精神障害者の支援の導入期から退院後までの継続した支援や、退院支援に取り組む。
- ・就労支援事業所を対象に、商品開発や販路拡大に向けた支援を行う。

【主な成果等】

- ◎グループホームの利用者数（R6までの目標：3,146人） 2,535人（R1）→2,751人（R2）
- ◎入院中の精神障害者の地域生活への移行（入院期間1年以上の長期在院者数）（R6までの目標：2,506人以下） 3,092人（H30）→2,913人（R2）
- ◎就労継続支援B型事業所等における工賃の平均月額 17,477円（R1）→17,247円（R2）

取組 14 暮らし続けられる安全安心な地域の形成

【主な取組】

- ・地域の実情やニーズに応じた暮らしやすい環境の整備や就業の場の確保に向け、先進的技術の活用や商店街の活性化等による「まちづくり」を支援する。
- ・犯罪の起きにくい環境づくりに向け、サイバー空間の脅威、特殊詐欺、子どもや女性への声かけ事案等の被害防止対策を推進する。
- ・交通事故のない社会に向け、交通安全に対する気運醸成や安全対策を推進する。

【主な成果等】

- ◎商店街の活性化状況（営業店舗増減率）（R6までの目標：95%） 99%（R2）
※営業店舗数の減少幅を抑えることを目的としている。
- ◎刑法犯認知件数（警察が把握した犯罪の件数）（R6までの目標：10,193件以下） 12,979件（R1）→10,193件（R2）
- ◎交通事故死者数 65人（R1）→44人（R2）

つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

あなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない
今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけて下さい(複数選択可)					
生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供	1 心身の健康づくりの支援体制強化 2 切れ目のない医療提供体制の整備 3 感染症対策の推進 4 高齢者を支える体制整備の促進				
障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現	5 障害者の権利擁護や社会的障壁の除去 6 誰もが暮らしやすいユニバーサルデザイン(※)のまちづくりの推進 ※誰にとっても利用しやすいよう施設や製品等をデザインするという考え方 7 障害者や難病患者等を支える体制整備の促進				
暮らし続けられる安全安心な地域の形成	8 地域交通の維持や柔軟な移動手段の普及支援 9 商店街の活性化等によるまちづくりの支援 10 地域の安全安心の確保				

つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる

自然との共生が「豊かな暮らし」につながることを理解し、自然環境を保全することに加え、環境負荷の少ない社会づくりを推進することで、より良い地域環境の創造に努め、次世代に伝えていく社会をつくる。
《つくる7で県が行う主な取組》

取組 15 環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立

【主な取組】

- ・地域特性を踏まえた再生可能エネルギーを利活用した取組を行う地域のまちづくり団体等を支援し、多様な再生可能エネルギーの地産地消を推進する。
- ・県民・市町村等に対して啓発活動を行い、廃棄物のリサイクルを推進する。
- ・HPや情報紙「みやぎの消費生活情報」、出前講座等を活用し、人や社会、環境に配慮したエシカル消費の普及啓発を図る。

【主な成果等】

- ◎再生可能エネルギー等の導入量(熱量換算)(R6までの目標:29,922 TJ) 19,916 TJ(R1)→22,615 TJ(R2)
- ◎一般廃棄物のリサイクル率(R6までの目標:27.7%) 25.5%(H30)→24.9%(R1)
- ◎環境に配慮されたマークのある商品を選ぶことを意識する人の割合(R6までの目標:60%) 46.2%(R1)→30.7%(R2)

取組 16 豊かな自然と共生・調和する社会の構築

【主な取組】

- ・流域全体が協力・連携した水循環の保全や、適正な野生鳥獣の保護管理策を推進する。
- ・木を使う文化の醸成に向けた「木育」等を推進する。
- ・農山漁村の有する多面的機能の維持・発揮に向けた農山漁村環境の保全。
- ・交流人口や関係人口の拡大に向けた農山漁村の受入環境を整備する。

【主な成果等】

- ◎野生鳥獣の捕獲数(イノシシ/ニホンジカ)(頭)(R6までの目標:15,000/4,200頭) 10,791/3,551頭(R1)→12,837/5,111頭(R2)
- ◎森林認証取得面積(ha)[累計](R6までの目標:20,000ha) 13,320ha(R2)
- ◎日本型直接支払制度取組面積(地域活動や営農の継続等に対して支援を行う農地の面積)(ha)(R6までの目標:74,200ha) 75,208ha(R1)→75,144ha(R2)
- ◎農村環境保全等の協働活動に参加した人数(人)[累計](R6までの目標:66,500人) 58,102人(R1)→59,473人(R2)

つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる

あなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけて下さい(複数選択可)

環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立	1 環境課題の理解と配慮行動の促進 2 省エネ行動,再生可能エネルギー等の利用促進 3 環境関連産業の振興 4 廃棄物の削減や有効活用 5 廃棄物の適正処理
豊かな自然と共生・調和する社会の構築	6 自然環境や生態系の保全 7 自然環境に関する学びの環境整備等 8 地域資源・多面的機能の保全・活用 9 都市と農山漁村の交流促進や景観形成等

つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

災害による被害は、私たちの日頃の取組によって防ぎ減らすことが可能であることを認識し、防災・減災を備えた県土整備や自助・共助・公助の体制強化を推進する。あわせて、老朽化が進む社会資本の維持管理・更新については、戦略的インフラマネジメントにより、人口減少・少子高齢化が進む中でも、安全性と信頼性が確保される持続的な維持・管理体制の構築を進める。

《つくる8で県が行う主な取組》

取組 17 大規模化・多様化する災害への対策の強化

【主な取組】

- ・女性や若者を含めた防災リーダー育成の推進や自主防災組織の活性化を図る。
- ・震災の教訓を踏まえ、県民の防災訓練の参加促進及び防災教育の充実等、県民の意識向上を図る。
- ・大規模・多様化する自然災害に備え、洪水・土砂災害防止、耐震化や高潮対策等の整備を促進するとともに、関係機関と連携した防災体制の充実を図る。

【主な成果等】

◎女性防災リーダー養成者数(宮城県防災指導員)(R6までの目標:1,350人)

856人(R1)→1,012人(R2)

◎地域住民と連携した避難訓練を実施している学校の割合(R6までの目標:70.0%) 47.8%(R1)

取組 18 生活を支える社会資本の整備,維持・管理体制の充実

【主な取組】

- ・予防保全型の長寿命化対策を推進する。
- ・道路や河川などの公共空間について、企業や地域住民が清掃・美化,管理活動を行うアドプトプログラムを推進する。

【主な成果等】

◎橋梁の長寿命化対策率【累計】(R6までの目標:48.0%) 10.0%(R2)→19.0%(R3)

◎港湾施設の長寿命化対策率【累計】(R6までの目標:58.3%) 30.6%(R1)→41.6%(R3)

◎アドプトプログラム認定団体数【累計】(R6までの目標:684団体) 644団体(R2)

つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

あなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

問1	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
問2	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない
今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけて下さい(複数選択可)					
大規模化・多様化する災害への対策の強化	1 東日本大震災の経験を生かした災害対応力向上 2 地域防災体制の活性化 3 県民の防災意識の向上 4 防災教育の充実 5 災害に備えた防災体制の充実				
生活を支える社会資本の整備,維持・管理体制の充実	6 社会資本の整備と長寿命化対策の推進 7 企業や地域社会と協働した公共施設の管理の促進				

自転車保険の加入状況等についてお聞きします。

問1 あなたは、どの程度自転車を利用していますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 ほとんど毎日利用している
- 2 週に1回から数回程度利用している
- 3 月に1回から数回程度利用している
- 4 年に数回程度利用している
- 5 全く利用していない

【5】を選択した方は回答終了です。

問2 あなたは、宮城県の「自転車安全利用条例」が今年4月から施行され、自転車利用者の自転車保険等への加入が義務化されたこと、ヘルメット着用が努力義務化されたことを知っていますか。

1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 自転車保険等への加入義務化もヘルメット着用の努力義務化も知っている
- 2 自転車保険等への加入義務化は知っているが、ヘルメット着用の努力義務化は知らなかった
- 3 自転車保険等への加入義務化は知らなかったが、ヘルメット着用の努力義務化は知っている
- 4 自転車保険等への加入義務化もヘルメット着用の努力義務化も知らなかった

(自転車安全利用条例を知らなかった)

問3 あなたは自転車保険または個人賠償責任保険(特約等)に加入していますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 自転車向け保険に加入している
- 2 自動車保険・火災保険等の個人賠償責任保険特約に加入している
- 3 T Sマークに付帯する保険に加入している (T Sマークとは、自転車安全整備店の自転車安全整備士が点検整備を行い安全な自転車であることを確認したとき、貼付するものです)
- 4 その他の保険等に加入している
- 5 保険に加入していない(理由を下記から3つ以内で選択してください。)
 - A ほとんど自転車に乗らないから(年に数回程度しか乗らない)
 - B 加入のきっかけがなかったから
 - C 加入方法がわからないから
 - D 手続きが面倒だから
 - E 保険料が高いから
 - F 自分が加害者になるとは思わないから
 - G 保険について知らなかったから
 - H 行政や学校側からのPRがなかったから
 - I 自転車販売店の説明がなかったから
 - J その他(理由:)

問4 あなたは自転車利用時にヘルメットを着用していますか。

1か2のどちらかあてはまる番号に○をつけてください。

- 1 ヘルメットを常に着用している
- 2 ヘルメットを着用していない(理由を下記から3つ以内で選択してください。)
 - A 安全上問題ないと考えているため
 - B 髪型が崩れる、似合わない、デザインが悪いなど
 - C 値段が高く、購入するのがためらわれるため
 - D 駐輪時の保管方法など取扱が面倒なため
 - E まわりが誰も着用していないため
 - F 努力義務であり罰則もないため
 - G その他(理由:)

2050年脱炭素社会の実現に向けてお聞きします。

問1 宮城県では、2050年までに地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出などを全体としてゼロとする脱炭素社会の実現を目指しています。あなたは、脱炭素社会を目指すことについて、どう思いますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | | |
|------------|-----------|---------|
| 1 非常に重要である | 2 やや重要である | |
| 3 あまり重要でない | 4 全く重要でない | 5 分からない |

問2 あなたが、導入を進めるべきと考える再生可能エネルギー等の種類はどれですか。

1から11のうち、あてはまる番号に○をつけてください。(3つ以内)

- | | | | |
|---------|------------|----------|----------|
| 1 太陽光発電 | 2 水力発電 | 3 洋上風力発電 | 4 陸上風力発電 |
| 5 地熱発電 | 6 バイオマス発電 | 7 太陽熱利用 | 8 温泉熱利用 |
| 9 地中熱利用 | 10 水素エネルギー | 11 特にない | |

問3 あなたが、導入を進めるべきと考える省エネルギー等の取組はどれですか。

1から13のうち、あてはまる番号に○をつけてください。(3つ以内)

- | | | |
|-----------------------|---------------|-----------------|
| 1 住宅の断熱化 | 2 省エネ家電への買い換え | 3 脱炭素電力契約への切り替え |
| 4 電動車(EV,FCV)の導入 | 5 公共交通・自転車の利用 | 6 カーシェアリングの利用 |
| 7 サステナブル・ファッション(※)の利用 | 8 多様で柔軟な働き方 | 9 食材の地産地消 |
| 10 食品ロスの削減 | 11 業務ビルの省エネ | 12 工場の省エネ |
| 13 特にない | | |

※サステナブルファッションとは

「衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指す取組」のこと。

参照先：環境省ウェブサイト https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

問4 あなたが、大規模な再生可能エネルギー施設の導入を避けたほうが望ましいと考える地域はどれですか。

1から8のうち、あてはまる番号に○をつけてください。(3つ以内)

- | | | |
|------------|----------|--------|
| 1 住居地域 | 2 商業地域 | 3 工業地域 |
| 4 農地 | 5 港湾・漁港 | 6 森林 |
| 7 河川(周辺含む) | 8 災害危険区域 | |

最後に、この調査に対する御意見などをお聞きします。

問1 この調査についてどのように感じましたか。

下記のそれぞれの項目について、あてはまる選択肢を1つ選び○をつけてください。

① 設問の量

ア 少ない

イ ちょうど良い

ウ 多い

② 文章説明の分かりやすさ

ア 分かりやすい

イ ふつう

ウ 分かりにくい

③ 文字の量

ア 少ない

イ ちょうど良い

ウ 多い

④ 記入方法の分かりやすさ

ア 分かりやすい

イ ふつう

ウ 分かりにくい

問2 この調査に回答するために、合計でどのくらいの時間がかかりましたか。

あてはまる選択肢を1つ選び○をつけてください。

ア 1時間未満

イ 1時間以上2時間未満

ウ 2時間以上3時間未満

エ 3時間以上

問3 この調査に参加したことにより、県内で行われている様々な取組について理解が深まったと思いますか。

あてはまる選択肢を1つ選び○をつけてください。

ア 大いに理解が深まった

イ 少し理解が深まった

ウ 前と変わらなかった

問4 この調査は、県民の意見を県政に反映させる方法として適切だと思いますか。

あてはまる選択肢を1つ選び○をつけてください。

ア 適切である

イ どちらかといえば適切である

ウ どちらかといえば適切ではない

エ 適切ではない

※【ウ】【エ】を選んだ方にお聞きします。

あなたは、県民の意見を県政に反映させる方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。御意見・アイデアなどがございましたら御記入ください。

()

問5 県政全般について、御意見、御要望などがございましたら下の枠内に御記入ください。

<< 御協力ありがとうございました >>

御記入いただいた調査票は12月20日(月)までに投函をお願いします。

本調査は無記名ですので、封筒にはお名前やご住所を書かずにポストに投函してください。